BOOKOFF
CORPORATION LTD

Reclothes Cup 2025

開催のご案内

BOOKOFF
CORPORATION LTD

国内最大級のアップサイクル デザインコンテスト Reclothes Cupとは

ブックオフが取り扱う商材の中から
『古着』に焦点を当てたサステナブルな取り組みです。
自由な発想で古着の価値を高め、
人々を感動させワクワクするモノへと生まれ変わらせる。
そこからさらなるモノの循環を生み出したい。
そんな思いから生まれたコンテストです。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

なぜブックオフがコンテストを開催するのか

ブックオフは『本』だけではなく、服やスポーツ用品など様々なものをリユースという形で循環させ、モノの寿命を延ばすことを事業の根幹としている企業です
しかし、ブックオフで『服』を取り扱っていることはなかなか人々に知られていません。
そこで、この取り組みを通して、服が好きな人たちに、ブックオフは『本』以外のモノの取り扱いもしていることを知ってもらい、今まで以上にモノを循環させることに貢献できるようになりたいと考えています。

なかなか服の取扱い認知度が低いとはいえ、ブックオフでは年間1000万着以上の服の取り扱いがあり、その中には役目を終えていく服もたくさんあります。
この服をどうにかもう一度人々の手に届けることはできないか、人々をワクワクさせるこはできないかと考えていた時に、ブックオフでアルバイトをしていた服飾専門学校に通う学生を通して、コロナ渦で作品を発表するコンテストやファッションショーがどんどん減っている事を知りました。
熱い思いをもって作品制作に取り組む学生のやり場を増やし応援することができ、ブックオフの課題解決にもなるとても良いチャンスになると考えコンテストの開催を決めました！

BOOKOFF
CORPORATION LTD

応募部門

ブックオフで役目を終えた服にアップサイクルで新たな付加価値を付け、人々をわくわくさせたり、感動させられる作品を募集します。

デザイン

テーマを自由に考え、自分自身が想うアップサイクルを形にしてください。個性的でファッションの新しい可能性と未来を感じる作品を募集します！

販売

【トレンチコート】の制作を行っていただきます。
商品のコンセプト、ターゲット、再現性を考え、実際に販売可能で人々から欲しい、着てみたいと思われる作品を募集します！

BOOKOFF CORPORATION LTD

デザイン部門

テーマは自由です。
自身が考えるアップサイクルを形にし、なおかつ個性的でファッションの新しい可能性と未来を感じる作品を募集しまう

参加資格

・高校生以上の学生
・着脱可能な縫製された服を制作できること

作品の条件

・ブックオフの古着を使用すること
・トータルコーディネートで準備をすること
・AIでのデザイン画作成はNG

審査のポイント

デザイン性だけではなく、古着をどのくらい無駄なく使い切ることができているか、古着の使用方法、素材を選んだ理由などが審査のポイントとなります

BOOKOFF CORPORATION LTD

【デザイン部門】制作の条件

① **ブックオフの古着を使用すること**

使用できる古着は、1,500円未満のメンズ、レディース、キッズの服と1,500円未満の靴、バッグ、小物類(スカーフや帽子など)

② **ブックオフの古着以外の素材も使用可**

完成した作品を長く着られるものにするために必要な新品の素材は使用可

③ **縫製されていること、脱着可能である事**

ショーでモデルが着用する為、着用できないものはNG

④ **既存の商品にペイントのみでの提出はNG**

ペイントは洗濯しても落ちない物をを使用すること

ペイントしたものを縫製すること

⑤ **ブランドロゴ、ロゴマーク、キャラクターの使用は不可**

⑥ **使用した素材はすべて写真に残し提出すること**

提出フォーマットはReclothes Cup公式サイトよりDL

⑦ **作品はトータルコーディネートで準備すること**

靴の準備は必須ではありませんが、ショー開催にあたり靴が必要となる為、弊社で靴を準備する場合、希望通りの準備は出来かねます

販売部門

BOOKOFF CORPORATION LTD

テーマは【トレンチコート】
コンセプト、ターゲット、再現性を深く考え、実際に販売できるものを製作してください。人々が欲しい、着てみたい！と思う作品を募集します！

参加資格

学生から一般の方まで自由にご参加いただけます
※自分のブランドを始めて3年以上経過している方は不可

作品の条件

・ブックオフの古着を使用すること
・デザインの違う2着のトレンチコートを製作すること
・AIでのデザイン画作成はNG

審査のポイント

デザイン性だけではなく、素材に1点物の古着を使っているので、商品化する際に、どう再現性を高めようと考えられて作られているかが審査のポイントになります。

BOOKOFF CORPORATION LTD

【販売部門】制作の条件

① **ブックオフの古着を使用すること**

使用できる古着は、1,500円未満のメンズ、レディース、キッズの服と1,500円未満の靴、バッグ、小物類(スカーフや帽子など)

② **ブックオフの古着以外の素材も使用可**

完成した作品を長く着られるものにするために必要な新品の素材は使用可

③ **縫製されていること、脱着可能である事**

受賞時にモデルが着用する為、着用できないものはNG

④ **既存の商品にペイントのみでの提出はNG**

ペイントは洗濯しても落ちない物をを使用すること

ペイントしたものを縫製していること

⑤ **ブランドロゴ、ロゴマーク、キャラクターの使用は不可**

⑥ **使用した素材はすべて写真に残し提出すること**

提出フォーマットはReclothes Cup公式サイトよりDL

BOOKOFF CORPORATION LTD

スケジュール

エントリー開始
2025年4月1日(火)

Reclothes Cup公式サイトよりエントリー開始
エントリーはこちらから→　公式サイト→https://reclothes-cup.jp/
※登録完了後、指定店舗にてコンテストに使用する商品をお選びいただけます

デザイン画提出締切
2025年5月31日(土)

デザイン部門は、①デザイン画　②エントリーシート（公式サイトよりDL）
販売部門は、①②と③販売企画書(公式サイトよりDL)の2点(もしくは3点)を
Reclothes Cup運営事務局まで郵送にて提出　※当日消印有効

一次審査結果発表
2025年7月1日(火)

Reclothes Cup公式サイトにて一次審査の結果を発表します
※通過者には運営事務局より個別にもご連絡いたします
7月1日(火) 12時より指定店舗にて、事前に選択済みの商品をお受け取り頂けます

作品提出締切
2025年8月31日(日)

完成作品をReclothes Cup運営事務局まで提出
※8月31日(日)までに発送を完了すること

最終審査会
2025年10月13日(月)

最終審査はファッションショー形式の公開審査会となります
※ファッションショーはデザイン部門のみとなります

BOOKOFF CORPORATION LTD

スケジュール

コンテスト説明会
4月14日(月)

ZOOMでの合同説明会を開催いたします
※録画を公式サイトにてご確認頂けます
URLは後日サイトにアップします

学校単位説明会

ご希望の学校様向けに、オンラインでの個別説明会を開催いたします
※ご希望の場合は運営事務局までご連絡ください

作品製作説明会
7月2日(水)

デザイン画の一次審査を通過した方向けに、作品制作に関する説明会を開催いたします
※録画は一次審査通過者の皆様へ限定公開いたします

BOOKOFF CORPORATION LTD

Q&A

Q : 指定店舗とはどこですか？
A : 公式サイトより店舗一覧がDLできます。リストに記載のある店舗はご利用頂けます　※店舗に電話をしてからご来店ください。

Q : 近くに店舗がない場合は？
A : Reclothes Cup運営事務局までご連絡ください

Q : 店頭で選んだ商品は結果発表まで保管されますか？
A : 一次審査結果発表まで、店舗で保管いたします

Q : 商品は無償提供ですか？
A : 一次審査を通過された方には1,500円未満のブックオフの対象商品を無償でご提供いたします

Q : 選んだ商品の交換はできますか？
A : 作品が完成して提出するまでは何度でも交換可能です　※手を加えた商品の交換はできません

Q : 作品の発送方法に指定はありますか？
A : 発送業者の指定はありません。必ず1作品ごとに箱に入れて宅配でお送りください

Q : 作品は返却されますか？
A : 提出された作品は返却されませんが作品の貸し出しは可能です　※コーディネートの為の私物は店舗での展示終了後に返却いたします

Q : チームでのエントリーは可能ですか？
A : 可能です。代表者の方がエントリーをお願いいたします

Q : 洋服、靴、バッグ以外の商品は使用できますか？
A : 1,500円未満の着物、帯、スポーツウェアをご利用頂けます　※ブックオフの対象商品は無償提供

Q : 洋服、靴、バッグ以外の商品は使用できますか？
A : 1,500円未満の着物、帯、スポーツウェアをご利用頂けます　※ブックオフの対象商品は無償提供

BOOKOFF
CORPORATION LTD

デザイン部門
グランプリ

賞金　30万円
副賞　作品を装苑に掲載

準グランプリ　賞金　10万円
ブックオフ賞　賞金　　5万円

BOOKOFF
CORPORATION LTD

販売部門 グランプリ

賞金　10万円
副賞　NEWENERGY合同出展

NEWENERGY出展に向けて、審査員のかたからのアドバイス会を開催いたします

BOOKOFF
CORPORATION LTD

審査員

審査員長

児島　幹規様

1992年 専修大学経済学部経済学科卒業。同年世界文化社入社 Begin編集部配属。2004年　Begin編集長就任　2009年MEN'S EX 編集長就任。
2014年10月 から文化学園 文化出版局 出版事業部長　兼　装苑編集長就任。2024年６月まで文化学園在籍の間、香蘭ファッションデザイン専門学校の他、文化服装学院、大阪文化服装学院、名古屋ファッション専門学校、中部ファッション専門学校、マロニエファッション専門学校におけるファッションコンテストの審査や、毎日ファッション大賞にて審査員を務める。
2024年7月　Zoffを運営するインターメスティック　チーフ デザイン オフィサーに就任。同時に大阪文化服装学院にて特別教員に就任。その他の服飾専門学校におけるコンテスト審査も務めている。

審査員

相澤　樹様

2005年よりフリーのスタイリストとして活動開始。雑誌でのスタイリングをはじめアーティスト、広告、CMなどジャンルを問わず活躍中。
衣装デザイン、エディトリアルディレクション、空間プロデュースなど多方面での活動を行っている。
2021年に東京で開催されたパラリンピック閉会式では衣装ディレクターとして参加。2017年ラッキースター所属

BOOKOFF
CORPORATION LTD

審査員

ブックオフグループホールディングス株式会社

代表取締役社長　　堀内　康隆

審査員

田中　大資様

大阪文化服装学院卒業後、デザイナーブランド入社。
独立後衣装制作や、 刺繍作家として活動。
*2021*年、コレクションブランド「*tanakadaisuke*」 としてデビュー。
「おまじないをかけたようなお洋服で、自分の中にいるまだ見ぬ自分と出会えますように。」
をコンセプトに、田中の得意とする刺繍をベースにロマンチックで幻想的なコレクションを展開。

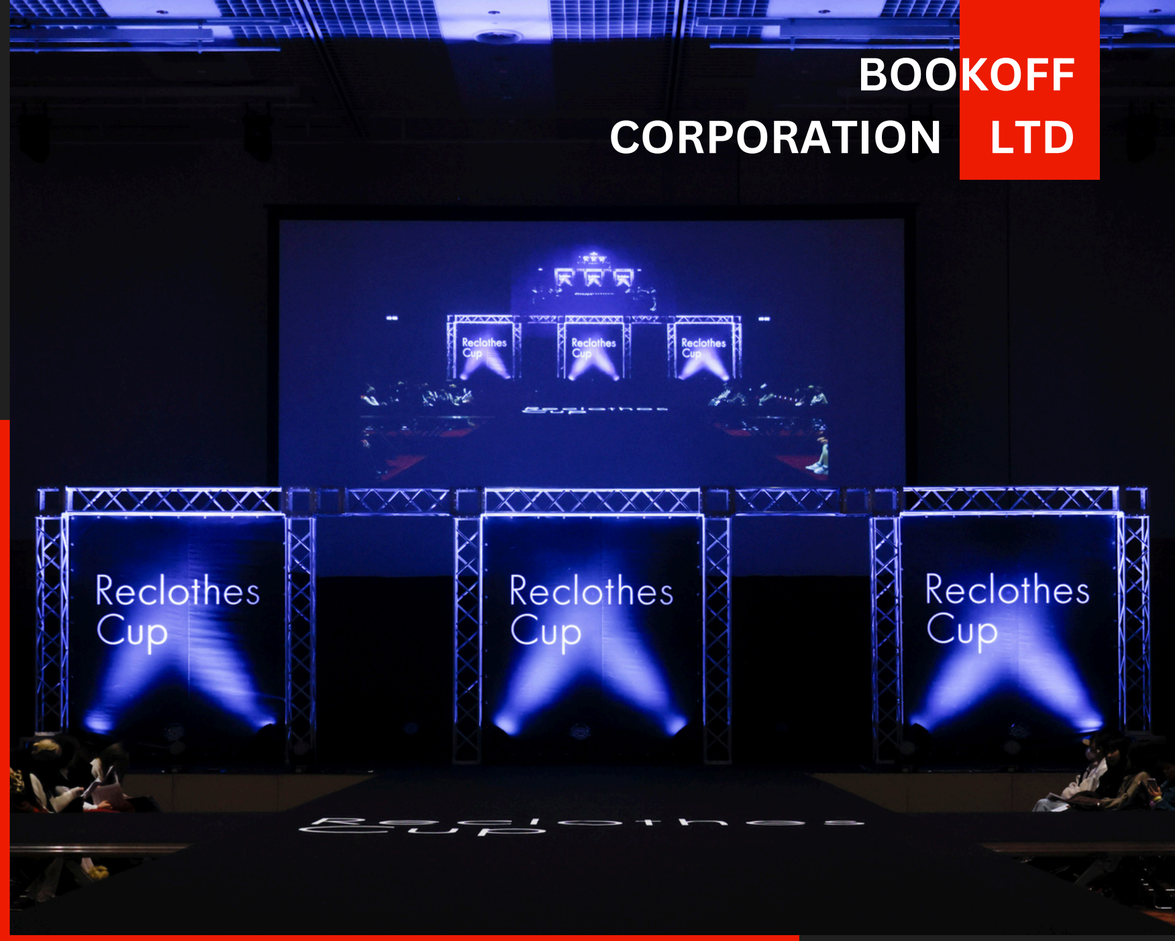
審査員

Reclothes Cup運営事務局

エントリーシート
作品の発送先

住所
〒８１０－０００１
福岡県福岡市中央区天神4丁目3－8
ミーナ天神7階
BOOKOFF SUPER BAZAARミーナ天神
『Reclothes Cup運営事務局宛』

お問合せはメールにて承ります
re_clothes_cup@info.bookoff.co.jp
担当者：山田　美有



公式サイト：https://reclothes-cup.jp/
公式Instagram：@reclothes_cup

BOOKOFF
CORPORATION LTD

最終審査会
2025年10月13日(月・祝)

会場
福岡国際会議場　多目的ホール

〒812-0032
福岡県福岡市博多区石城町2-1

https://www.marinemesse.or.jp/congress/

FUKUOKA INTERNATIONAL CONVENTION CENTER

BOOKOFF
CORPORATION LTD

デザイン部門
グランプリ

北海道文化服装専門学校
髙橋 百花さん
『Bumpy』

Bumpyは日本語で「どこぼこが」という意味です。スポーツをしている人達が挫折や成功を操り返して努力している様子を凹凸を使って表現しました。まず、デザイン画を描く前に店舗に行ったのですが北海道という事もありスキー・スノーボード・冬レジャー商品が沢山ある事に気がつきました。アウトドア用品はほとんどが化学繊維であり焼却するとCO2が大量に排出されてしまうので今回使用した古着は全て化学繊維にしました。私自身、幼少期からスポーツを習っていたので
成長する上での辛さや成功した時の喜びは分かっているつもりです。スポーツ選手として活躍している人も少年団の大会に出場している子供も本番では輝いている様に見えるけれどその裏では血のにじむ様な努力をしているという事を作品に落とし込みました。一見、真っ赤で事やかな様に見えるけれど近くで見たら小さな凹凸の集合体となる様にウィンドブレーカーやジャージを全てシャーリング加工をしました。この素材を使ったもう一つの理由は軽いからです。なるべく軽い素材を使用する事で動きやすく良いパフォーマンスにもつながると思いました。デザイン画では四角いパッチワークを合体させていたのですが
動きがダイナミックになる様にただのパッチワークではなく凹凸が出る特殊なパターンを用いて陰影が出る様に工夫しました。赤だけだと引きしめる部分が無いのでハーネスザックと手袋・ひざあてパットヘルメットもネイビー・黒にして色の強弱をつけました。ハーネスについてはエナメルバックとリュックサックの素材を用いて一から制作したけれど、よく見てみると元は何から出来ているのか分かる様なパーツも残しておいて見て楽しめる様にしました。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

デザイン部門
準グランプリ

北海道文化服装専門学校
穴戸 颯太さん
『りゅうきん』

江戸時代、金魚は粋を表すものとして一部の富裕階級に飼育鑑賞されていました。中でも長いヒレで泳ぐ優美な姿が好まれた「りうきん (流金)」は日本人に最も好まれた金魚と言えます。古着が安価で容易に手に入るようになった現代。かつて贅沢品として楽しまれた金魚が優美に泳ぐ様子をイメージしました。江戸時代の画家である伊藤若冲の升目描きを参考に生地を編み込んだ方眼を作ることで鱗を表現します。古着には、ニットやレース、デニム、綿ナイロン等色々な素材のものを使用します。それらをつなぎ、編み込むことで生まれる重なりを活かして衣服だからこそ可能である表現をします。袖や裾の部分にはシャツやワンピースなどの薄い生地を染め、金魚のヒレを表現します。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

デザイン部門
BOOKOFF賞

静岡デザイン専門学校
飯田 恵花さん
『むすび』

スカーフ、ネクタイなどの小物は他の商品に比べて、残ってしまうのではないかと思いました。そのためすべて小物を使って、新しい形をつくりたいと考えました。古着は他の人がつかっていたものです。他人から他人へ移っていきます。またスカーフは多くの色や文化を元にしたもの、国の象徴的な建物、生き物など多くの柄が存在します。人と人へと移った古着、様々な文化、国のものなどの柄を表しているスカーフを使うことで「人と人、人と文化、人と国などを結ぶ」ということをイメージしました。細いものを編んでつなげることで、1つ1つのつながりをむすびつけるくさりのようなものをイメージしました。
つ1つの小さなつながりが、結びつなげることで大きなつながりになる。そんな思いでこの作品を考えました。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

デザイン部門
審査員特別賞

大阪文化服装学院
梛野 結花さん
『Arrival of Spring』

「服にもう一度感動を。総レースの服を使用して、季節がめぐり春が訪れた時の喜びを落とし込んだルックを制作しました。レースのつつのモチーフに注目しそれらを組み合わせて大きな 花の装飾にし春の訪れを表現しました。中のドレスの生地もレースのモチーフを組み合わせて製作し、奥行きのある唯一無二の風合いを持つテキスタイルとなっています。高級感と素朴さを併せ持つ、見れば見るほど魅力が増すテキスタイルに仕上げることができました。春にお花畑を訪れるイメージで、軽やかなシルエットになっています。
歩くたびに装飾が揺れ動き季節が巡る喜びを感じさせます。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

デザイン部門
審査員特別賞

中部ファッション専門学校
白井 奈那さん
『Immortal Energy』

本来廃棄される予定の製品に新たな価値をつけて再生するアップサイクルという言葉から発想し人から求められなくなり価値をさ失った服のように虚無感のなかで自分の価値を見つけようともがいている心情をマテリアルで表現しました。暗闇の中で静かに燃えている炎をイメージして紐を浮かせて縫い付け、テクノロートを入れたフリルで炎の動きを表現しました。また、透け感や硬さなどそれぞれのアイテムの素材感を活かし、グラデーションも入れることで炎の立体感やゆらめきを表現しました。デザインした段階では、チェックやドットなどのはっきりした柄の服を使うことで、黒い中に動きを入れようとしましたが、黒から明るいグレーのグラデーションにすることでポイントになる部分を作り乱雑になりすぎないようにしました。アイテムについている前立てやカフスや襟のデザインをフリルや紐飾りに使用し、本来のアイテムのデザインを活かしつつ無駄なく使用しました。
土台のワンピースは、Aラインのシルエットにするためにパニエを作り、トップスに縫い付けました。パニエの素材を探す時に、ハードチュールが使ってある服はないので、なるべく軽く、張りのある素材を探しました。探した中で薄物の浴衣の生地なら軽く張りがあり長方形でできてるので解体してパニエにする時に無駄なく使用できると思い浴衣の生地でパニエを作りナイロン素材のトップスと合わせて土台を作りました。紐やフリルも軽い素材を選び、全体的に軽くなるように作りました。猫背のシルエットを出すのに、友達からもらった使わなくなったわたとフリルや紐のあまりを入れてミッションを作り、背中に縫い付け猫背のシルエットを出しました。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

販売部門
グランプリ

古賀 敬典さん
『孤執と超質』

弧(曲線)にこだわり広々と面を作ることでどんな生地でも表現を楽しめることを追求しました。選ぶ素材は、なんでも良く。
使いたい物、好きな物、表現したい物嫌いになったからこそアップサイクルしたい物と多種多様とどんな物でも再現ができる 【再現性】に注視し更に、再現が可能だからこそお客様一人一人に好きな柄、素材感、色などを選んでいただけるよう売り場を想像し考えました。
したがって今回の2つのアイテムは同じ形の物を素材の違いでお楽しみいただけたら幸いです。

BOOKOFF
CORPORATION LTD

Model : IA

Styling : Miki Aizawa

Hair & makeup : Noboru Tomizawa

Photograph : Josui

『装苑』2025年3月号掲載